

わらどん

令和5年10月23日

発行責任者
早川北小学校
校長 横澤敏英

大成功のわらべどんぐり祭り



秋本番を迎え、本校の最大行事である「わらべどんぐり祭り」を十月八日(土)に開催いたしました。開会式のあいさつでも触れましたが、昭和五十二年に本校が誕生して今年で四十六年目を迎えました。わらべどんぐり祭りも同じように四十六回目を数え、「今年には地域の方をお呼びしたい」と考え、大勢の地域の方をお招きすることができました。三年ぶりの通常開催を本当にうれしく思いました。

山々が色づき、秋の深まりを感じられる季節となりました。十月七日には、恒例の「わらべどんぐり祭り」を無事終えることができました。今年も、新型コロナウイルスが五月に五類移行され、やっと地域の皆様をお招きする中で、伝統の民話劇の発表に、パワーアップした一輪車の演技など、全校児童の頑張りによって、大成功を収めることができました。

心を一つに取り組みました

今年度のわらべどんぐり祭りは、全校児童による「今日から明日へ」の合唱で始まり、全校合奏「虹」へと続きオーブニングを盛り上げました。練習では、なかなかリズムが合わず苦労しましたが、練習を重ねることで、本番ではみんなの心がぴたり一つになったような演奏を披露することができました。始めの会では、児童会長の玲羅さんが「私たちみんな手で創り上げたわらべどんぐり祭りを楽しんでください。」と立派なあいさつをしてくださいました。



民話劇の後は、校庭での体育発表を行いました。子どもたちが堂々と校庭を走ったり、競技したりする様子がとても印象的でした。また、お昼には「炊き込みご飯」と「なめこの味噌汁」でおもてなしをすることができ、とてもよかったです。秋の楽しいひとときになっていただけたら、ありがたいです。

体育の部は、リーダーの歩夢さんと風沙さんの力強い宣誓で始まり、北小の伝統である「北小体操」と「一輪車」の発表を中心に、赤白対抗の競争競技や全員リレーなどを行います。北小体操は基礎体力作りのために朝の活動で行っています。今年も倒立に力を入れて取り組んできました。様々な技を組み合わせた体操なのですが、全員で揃えることで立派な表現が目立ちます。

赤白対抗の競争競技は児童が一番燃える時間です。選手に届けとばかり応援する声にも力が入ります。「玉入れ競争」や「全員リレー」も、大盛り上がりでした。

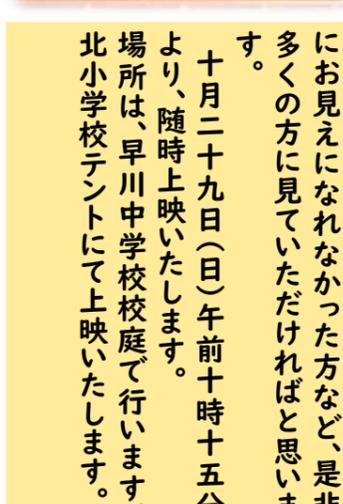


わらべどんぐり祭りといえば伝統の民話劇発表です。今年も西山地区に伝わる「早川の音を消したお万様」の伝説をもとに、学校評議員の深沢さんによるお話を聞きながら、早川の方言や独特の言い回しをできる限り取り入れるようにしています。ですが、今の子ども達にはなじみのない言葉使用が多いため、なかなか難しいところもあります。それでも、西山地区の人々の思いも伝えようと、一生懸命に練習を行いました。また、劇の最後の方に出てきた「西山どっこい」の踊りは西山地区在住の中居いくこさん、深沢かずこさん、中居よしえさんの三名に教えていただきました。一つ一つの動作に意味があり、とてもよい学習になりました。

子ども達の演技を見てみると、経験を重ねるごとに上達してきていることがわかります。高学年生になると、声の強弱や間の取り方、表情の出し方に体の動かし方なども本当に上手です。そんな上級生の演技に刺激を受けて、下級生達もうまくなっていく。そんなよいつながりが感じられる伝統の民話劇です。

一輪車の練習は、四月から始まりました。練習と言っても遊びの中で主体的に行うのですが、このときどきだけ頑張っておくかが、本番での技の仕上がりにつながります。初めて一輪車に挑戦する児童にとっては、なおさらです。

大冒険をイメージした一輪車最後の最後までやりきりました！



子ども達の演技を見てみると、経験を重ねるごとに上達してきていることがわかります。高学年生になると、声の強弱や間の取り方、表情の出し方に体の動かし方なども本当に上手です。そんな上級生の演技に刺激を受けて、下級生達もうまくなっていく。そんなよいつながりが感じられる伝統の民話劇です。

子ども達の演技を見てみると、経験を重ねるごとに上達してきていることがわかります。高学年生になると、声の強弱や間の取り方、表情の出し方に体の動かし方なども本当に上手です。そんな上級生の演技に刺激を受けて、下級生達もうまくなっていく。そんなよいつながりが感じられる伝統の民話劇です。

大車輪を成功させるには、全員呼吸を合わせなければなりません。自分ごとだけでなく、周りとの動きを合わせることも大切になります。子ども達は、こうしたことを練習を通して自然に学んでいきます。そして本番でもきれいな大車輪やプロペラを創り上げることができました。また、ファイナーでは、全校児童十四名が大きな技を見事に表現しました。一輪車に初めて取り組んだ三名も、最後までしっかりとやりきりました。

大車輪を成功させるには、全員呼吸を合わせなければなりません。自分ごとだけでなく、周りとの動きを合わせることも大切になります。子ども達は、こうしたことを練習を通して自然に学んでいきます。そして本番でもきれいな大車輪やプロペラを創り上げることができました。また、ファイナーでは、全校児童十四名が大きな技を見事に表現しました。一輪車に初めて取り組んだ三名も、最後までしっかりとやりきりました。

今年も「わらべどんぐり祭り」の取り組みを通しても、苦勞しながらも、多くのことを学び、成長してきました。

この頑張りをまた新しい挑戦に繋げ、伸びていく北っ子であって欲しいと願っています。

今年も「わらべどんぐり祭り」の取り組みを通しても、苦勞しながらも、多くのことを学び、成長してきました。

今年も「わらべどんぐり祭り」の取り組みを通しても、苦勞しながらも、多くのことを学び、成長してきました。

お知らせ

○民話劇 動画上映
わらべどんぐり祭り発表の民話劇「早川の音を消したお万様」を十月二十九日(日)の「奥山梨はやわか紅葉と食まつり」の早川北小学校のテントにおいて上映いたします。食まつりにご参加の皆様やわらべどんぐり祭りにお見えになれなかった方など、是非多くの方に見ていただければと思います。

十月二十九日(日)午前十時十五分より、随時上映いたします。
場所は、早川中学校校庭で行います。
北小学校テントにて上映いたします。



10月7日 わらべどんぐり祭り



10月19日 さつまいも収穫